

新聞コラム紹介

中国とアフリカとの協力関係強化の動き*

戦略・産業ユニット 石油・ガス戦略グループ 主任研究員 郭 四志

2006年11月3日から5日まで3日間にわたり、「中国アフリカ協力フォーラム北京サミット」が北京に開かれた。中国とアルジェリア、ナイジェリア、南アフリカ、チュニジア、アンゴラなど48カ国の首脳・要人が同時に北京で行った外交活動は、中国歴史上初めてのことである。

11月4日、胡錦濤中国国家主席は同サミットで8項目の政策措置を発表した。また、5日には中国・アフリカは「北京サミット宣言」と「行動計画（2007 - 2009年）」を採択、エネルギー・資源の共同開発と合理的利用、双方の外相クラスによる定期的な政治対話のメカニズム構築、アフリカ等を重視した国連安保改革の実施で合意するとともに、アフリカの11カ国の政府、企業と中国企業11社が14件、総額19億ドルの事業協力に関する契約に調印している。

胡錦濤国家主席の同サミットでの講話によると、中国とアフリカは新たな戦略的パートナーシップを構築し、政治信頼、経済協力、文化交流、世界の調和的発展、国際関係における相互支援・協力を強化しようとしている。

その重要な協力強化の一環として、中国は以下の8項目の政策を実施し、中国とアフリカとの協力を強化することにしている。

中国のアフリカ支援の規模を拡大し、2009年までに中国の援助額を2006年の2倍にする。

今後3年間にアフリカ諸国に30億ドルの優遇借款と20億ドルの優遇バイヤーズクレジットを供与する。

中国企業のアフリカへの投資を推奨・支援するため、中国アフリカ発展基金を設立し、基金総額を段階的に50億ドルにまで引上げる。

アフリカ諸国連合の発展と統合のプロセスを支援するため、アフリカ連合(AU)会議センターの建設を援助する。

中国と外交関係のあるアフリカ多重債務国と後発途上国に対し、2005年末を期限とする無利子借入債務(109億元)を免除する。

アフリカへの市場開放を一層促進し、中国と外交関係のある後発途上国の中国向け輸出の関税免除対象品目を190から440以上に拡大する。

今後3年以内に、アフリカ域内に3～5つの対外経済協力貿易区を設立する。

今後3年間でアフリカの各分野における人材1万5000人を訓練・養成する。また、アフリカへ専門家を派遣し、農業技術センター、病院及び学校を設立し、アフリカからの

*本文は『リベティヴジャパン』2006年11月14、15日に掲載されたものに転載許可を得て掲載しました。

奨学生制度を通じた留学生数を拡大することで、農業技術、マラリア予防、医療、教育分野の支援を行う。

中国とアフリカとが協力を拡大している背景としては、いくつかの点が挙げられるが、まずは、中国にとってアフリカが重要な戦略地域であることである。政治面では、中国政府は国際関係多極化の国際戦略の下で、アフリカ地域との協力関係の強化を通じ、世界的な中国の政治的影響・プレゼンスの拡大を図ろうとしている。

経済分野では、中国とアフリカの貿易総額は 2005 年に、2000 年の 4 倍増の約 400 億元になり、2006 年 1 ~ 9 月には、前年同期比 42% 増の 406 億元に達している。対アフリカ直接投資は 2005 年末、ストックベースで 500 億元以上に達した。中国はアフリカとの協力関係を強化し、中国の対アフリカ貿易を拡大し、中国企業の対アフリカ投資で、特に比較優位性のある家電、機械、繊維などの労働集約型業種・工程の対アフリカ進出を促進しようとしている。

とりわけ、石油・エネルギー分野での中国とアフリカの協力は中国にとって極めて重要である。近年、中国の石油需給ギャップ拡大に伴い、アフリカ地域からの原油輸入が年々拡大し、2005 年には 3800 万トン以上と 2001 年の約 3 倍まで拡大した。今年 1 ~ 9 月には前年同期比約 20% 増の 2830 万トンに達しており、中国の原油総輸入量の 30% を占めている。アフリカは、中東に次いで第 2 位の輸入先となっている。

また、中国のアフリカでの資源開発プロジェクトは 32 件と中国全体の海外探鉱・開発プロジェクト総件数の約 30% を占め、権益原油 (約 1500 万トン) は海外全体の 60% 以上を占めている。

現在、アフリカ全域の原油の確認埋蔵量と生産量はそれぞれ 152 億トン、4 億 7000 万トンと、世界の全体の約 10% と 12% を占めている。一方、石油消費量はわずか 1 億 2900 万トンで、世界 3.4% のシェアに過ぎない。中国は、アフリカが重要かつ不可欠な原油供給先だと認識している。中国が持続可能な経済成長を目指し、経済のボトルネックを克服し、輸入ソースの分散化、エネルギーの安定供給の確保を目的として、アフリカを視野に入れ、関係強化を推進することは極めて有意義である。

一方、アフリカ諸国は、発展途上国のリーダーである中国から長年支援を受けており、中国との関係の一層の強化により、経済貿易利益が拡大するのみならず、国際社会における政治面での協力・支持等のメリットが得られる。

しかしながら、今回の北京フォーラムによるアフリカ諸国との協力関係の強化・拡大の動きを、欧米社会は従来以上に警戒しており、特にアフリカの非民主主義国家、独裁政府の支援といった対中批判の声も出ている。中国政府にとっては、今後いかに国際社会と調和しこれらの問題に対応していくかが重要な課題となる。

お問い合わせ先 : report@tky.ieej.or.jp